

Summaria と Patsnap Eureka の FTO 調査手法に関する 比較検討報告書

Manus

1. はじめに

本報告書は、AI を活用した特許調査ツールである「Summaria」と「Patsnap Eureka」について、特に FTO（Freedom to Operate）調査における手法、機能、特徴を比較検討し、両者の違いとそれぞれの有効な利用シーンを明らかにすることを目的とします。

近年、特許実務における AI の活用は急速に進展しており、FTO 調査の効率化と精度向上は多くの企業にとって重要な課題となっています。本報告書が、貴社の知財戦略に最適なツールを選択するための一助となれば幸いです。

2. 調査対象ツールの概要

2.1. Summaria（サマリア）

Summaria は、弁理士の大瀬佳之氏が開発した、特許文書の読解支援に特化した AI アシスタントです [1]。2023 年 4 月にリリースされ、特に日本国内の知財実務者が直面する「特許文献の難解さ」という課題解決に焦点を当てています。開発者自身が弁理士であるため、実務家の視点に立った機能設計が特徴であり、日常的な特許調査業務を効率化するための実践的なツールとして位置づけられています。

2.2. Patsnap Eureka（パツスナップ・エウレカ）

Patsnap Eureka は、グローバルな知財情報サービス企業である Patsnap が提供する、専門分野特化型の AI エージェントプラットフォームです [2]。特許（IP）、研究開発（R&D）など、膨大なデータが絡み合う分野のワークフローを高速化することを目指しています。2 億件以上の特許データベースを基盤とし、グローバルな特許、

実用新案、意匠、非特許文献、企業情報を統合した包括的なプラットフォームとして展開されています。

3. FTO 調査のアプローチの比較

両ツールは、FTO 調査に対して根本的に異なるアプローチを採用しています。

- Summaria：読解支援型アプローチ** Summaria は、調査者が他のデータベース等で抽出した特許文献群を効率的に**読解・スクリーニング**することに重点を置いています。FTO 調査のプロセスにおいて、最も時間と専門性を要する「侵害リスクの有無を判断するための精読」作業を AI が支援します。このアプローチは、調査者の判断を補助し、作業効率を向上させることに特化しています。
- Patsnap Eureka：包括的自動化型アプローチ** Patsnap Eureka は、FTO 調査のプロセス全体をエンドツーエンドで自動化することを目指しています。ユーザーが技術概要を入力するだけで、AI エージェントが自律的に検索、クレームマッピング、法的比較、レポート生成までを遂行します。このアプローチは、調査プロセス全体の抜本的な効率化と、人為的ミスの削減を目的としています。

4. 主要機能の比較

両ツールの主要機能を以下の表にまとめます。

| 機能カテゴリ | Summaria | Patsnap Eureka |
|---------|------------------|----------------------------|
| 基本アプローチ | 読解支援型（スクリーニング特化） | 包括的自動化型（エンドツーエンド） |
| 検索機能 | なし（他ツールとの併用が必要） | あり（2 億件以上のグローバルデータベース） |
| 技術特徴抽出 | ユーザーが製品仕様を手動で入力 | AI が技術概要から自動抽出（ユーザー確認・編集可） |

| 機能カテゴリ | Summaria | Patsnap Eureka |
|------------|----------------------------|-----------------------------------|
| クレームマッピング | 製品仕様と請求項を対比し、関連度スコアを表示 | AI が自動でクレーム要素をマッピングし、セマンティック関係を識別 |
| 相違点分析 | 相違点の有無を明示し、判断根拠となる明細書段落を提示 | 詳細な並列比較と、同等のクレーム要素のハイライト表示 |
| 上位・下位概念認識 | 高い精度を実証済み [1] | 対応 |
| クレームチャート作成 | 詳細なクレームチャート作成機能あり | AI 支援により作成時間を 50-60%削減可能と報告 [4] |
| 有効性評価 | 独自基準による発明評価機能あり | 先行技術調査、審査経過レビューなど法的な有効性評価を提供 |
| レポート生成 | Word/Excel 形式でのエクスポートに対応 | ワンクリックで包括的な FTO レポートを自動生成 |
| 継続的モニタリング | なし | あり |

5. ワークフローの比較

FTO 調査における両ツールの典型的なワークフローは以下の通りです。

5.1. Summaria のワークフロー

- 特許検索:** 既存の特許データベース（例: J-PlatPat, Google Patents）で関連特許を検索・抽出します。
- 特許番号入力:** 抽出した特許の番号を Summaria に入力します。
- 製品仕様入力:** 調査対象の製品や技術の仕様を記述します。
- AI による解析:** Summaria が請求項と製品仕様を対比し、関連度、相違点、根拠段落を提示します。
- 専門家による判断:** 提示された情報を基に、知財専門家が侵害リスクを最終判断します。

このワークフローは、調査者の専門知識と判断を中核に据えつつ、AI がその補助を行う形となります。

5.2. Patsnap Eureka のワークフロー

- 6 技術概要入力: 調査対象の製品や技術の概要を記述します。
- 7 AI による特徴抽出・検索: AI が技術的特徴を自動抽出し、グローバルデータベースに対して複数ラウンドの検索（セマンティック、分類、キーワード）を実行します。
- 8 AI による分析・マッピング: AI が検索結果を分析し、クレームマッピングを自動で行います。
- 9 レポート生成: AI が分析結果を基に、侵害リスクの結論を含む包括的な FTO レポートを自動生成します。
- 10 専門家によるレビュー: 生成されたレポートを基に、知財専門家が最終的な戦略的意思決定を行います。

このワークフローは、AI が調査プロセスの大部分を自律的に実行し、専門家は最終的なレビューと意思決定に集中する形となります。

6. 精度と信頼性

6.1. Summaria の精度

弁理士の角淵由英氏による実証報告では、Summaria が出力した関連度スコア（関連度 100 で相違点なし、80 で相違点あり）が、専門家による判断と一致したとされています [1]。特に、特許文献の上位概念（例：食事道具）と製品仕様の下位概念（例：箸）を適切に関連付ける能力が高く評価されており、実務的な判断において高い信頼性を持つことが示唆されています。

6.2. Patsnap Eureka の精度

Patsnap は、業界初の特許実務特化型ベンチマーク「PatentBench」を 2026 年 1 月に発表しました [5]。このベンチマークにおいて、Patsnap Eureka は先行技術文献（X 文献）の検出率で 81%（Top100 結果）を記録し、汎用 AI モデルを大幅に上回る精

度を示したと報告されています。このような定量的な評価は、ツールの信頼性を客観的に示すものと言えます。

7. 対象ユーザーと利用シーン

| 観点 | Summaria | Patsnap Eureka |
|----------|--|---|
| 主な対象ユーザー | 弁理士、知財担当者、研究開発者（特に日本国内） | 知財専門家、R&D 担当者、法務担当者（グローバル） |
| 組織規模 | 中小企業、特許事務所、大手企業の部門単位 | 大手企業、グローバル企業 |
| 主な利用シーン | ・ クリアランス調査のスクリーニング ・ 無効資料調査のノイズ除去 ・ 出願前の発明評価 | ・ 製品発売前の包括的 FTO 調査 ・ 複数国にまたがる特許ランドスケープ分析 ・ 継続的な特許モニタリング |
| 導入の適合性 | 既存の検索ワークフローに組み込み、読解効率を向上させたい場合 | 検索からレポートまで FTO 調査全体を効率化・自動化したい場合 |

8. 結論

Summaria と Patsnap Eureka は、FTO 調査における異なる課題解決を目指した AI ツールです。

Summaria は、特許文献の**読解とスクリーニング**という、知財実務における時間のかかる作業を効率化することに特化した、**実務者向けの支援ツール**です。特に日本国内の知財実務に精通した設計がなされており、既存の調査ワークフローを大きく変えることなく、手軽に導入して読解効率を向上させたい場合に非常に有効です。無料で利用を開始できる点も、中小企業や個人事務所にとって大きな魅力です。

一方、**Patsnap Eureka** は、FTO 調査の**全プロセスを包括的に自動化**する、**戦略的なプラットフォーム**です。グローバルな特許ランドスケープを対象とし、検索から分析、レポート生成までを一貫して高速に実行します。大規模なポートフォリオを持

つグローバル企業が、戦略的なリスク管理と意思決定の迅速化を目指す場合に最適なソリューションと言えるでしょう。

両ツールに共通するのは、AI はあくまで専門家の判断を支援するものであり、最終的な法的判断は人間が行うべきであるという点です。ツールの特性を正しく理解し、自社の知財戦略、予算、組織体制に合ったツールを選択することが、FTO 調査の効率化と精度向上を実現する鍵となります。

9. 参考文献

[1] 角渕由英. (2023 年 10 月 22 日). サマリア (Summaria) を用いた侵害予防調査のスクリーニング. *note*. <https://note.com/tsunobuchi/n/n915359c4bee7>

[2] Patsnap. (n.d.). *Patsnap Eureka* | 専門分野特化型 AI エージェント. パトコア株式会社. <https://patcore.com/product/patsnap-eureka>

[3] Patsnap. (n.d.). *Guide to FTO Search*. Patsnap Eureka. <https://eureka.patsnap.com/blog/guide-to-fto-search/>

[4] Patsnap. (2025 年 11 月 14 日). *How to Conduct FTO Analysis: Patent Search Guide 2025*. <https://www.patsnap.com/resources/blog/articles/fto-analysis-complete-guide-2025/>

[5] よろず知財戦略コンサルティング. (2026 年 1 月 14 日). *Patsnap Eureka と Tokkyo.Ai の比較*. <https://yorozuipsc.com/blog/patsnap-eurekatokkyoai>